

## 1. 企業集団の状況

当企業集団は、日本精密株式会社（当社）及び子会社 NISSEY VIETNAM CO., LTD.、子会社日本精密(香港)有限公司、子会社株式会社シーテックの3社により構成されており、事業内容は金属の精密加工技術を生かした時計バンド、メガネフレーム、釣具・静電気除去器等応用品の製造販売に加え、イオンプレーティング・アルマイト・メッキ・塗装等による金属の表面処理加工を行っております。

主に製造は NISSEY VIETNAM CO., LTD. が行い、当社、日本精密(香港)有限公司、及び株式会社シーテックは主に営業活動を行っております。日本精密(香港)有限公司においては、グループ会社で使用する資材の調達業務も行っております。

尚、当社香港支店は、日本精密(香港)有限公司より平成16年10月1日に営業の全部を譲受けております。

## 2. 経営方針

### (1) 経営の基本方針

当社は、創立以来、一貫して金属の精密加工技術を生かした製品の開発に取組み、高級品を中心としたメーカーとして開発力及び技術力の蓄積を図ってまいりました。

当社製品の三本柱である時計バンド、メガネフレーム、応用品については、いずれも相応の設備投資と労働集約的要素が必要とされることから、安定的且つ優秀な労働力の確保により一層のコスト削減と製品の安定的供給を図るため、1994年ベトナムに製造子会社 NISSEY VIETNAM CO., LTD. を設立し、メガネフレームの海外生産に踏み切りました。その後、ベトナムに新工場を建設し、2000年10月には時計バンド、応用品、2001年7月にはイオンプレーティング加工についても海外生産へシフトし、全面的な海外一貫生産体制を確立いたしました。

この結果、当社は得意先各社の海外生産の進展に即応し、NISSEY VIETNAM CO., LTD から直接海外得意先へ納品できる体制を構築しました。これにより、コストダウン、納期短縮は勿論のこと、海外一貫生産体制のメリットを最大限に生かして新分野への取組み、新製品の開発、新規取引先の獲得をめざしております。

また、香港支店は中国を中心としたアジア向け営業の一層の強化並びに中国生産委託先の開拓を図るべく活動を行ってまいります。

さらに、2001年10月株式取得により子会社とした株式会社シーテックにおいては、国内大手時計メーカー向けに非金属バンド、時計部品の製造販売を中心に営業活動を行っております。

## (2) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして認識しており、常に株主の立場を最優先として、利益の増加により1株当たり配当金が増加するように、努めてまいります。

## (3) 中長期的な経営戦略及び会社の対処すべき課題

当社では精密機器業界の国際的なコスト競争の激化をいち早く想定し、国内生産から海外生産への全面移行を完了いたしました。今後は NISSEY VIETNAM CO.,LTD、中国生産委託先を効率的に使い分けることにより生産能力の向上を図るとともに、引き続き資材調達コストの低減化を進めてまいります。

更に下期以降につきましては、日本精密(香港)有限公司の経営の抜本的な改革策として、平成16年10月1日に営業の全部を当社香港支店が譲受け、本社一元管理と販管費の圧縮等合理化策を推進し、グループ全体の収益体質の強化を図ってまいります。当面の重点課題は以下のとおりであります。

主力の時計バンドは、国内大手時計メーカーとの連携を一層緊密化し、イコールパートナーとしての利益率の維持に努め、当社グループ全体の総合力を活かして受注の大幅増を獲得する。

ヨーロッパ大手時計メーカーについては、新モデルへの提案を積極的に行い、営業面での緊密化を促進し安定した受注を獲得する。

メガネフレームについては、引き続き国内大手メーカーとの取引深耕に努め、NISSEY VIETNAM CO.,LTD との連携により生産能力をフル活用し、安定収益を確保する。また、ヨーロッパ大手メーカーとの取り組みを早期に本格化し受注増を図る。

大手電機メーカーから受注した電子辞書外装パネルについては、上期における生産予定が若干遅れ、下期以降は量産体制が実現し収益への本格寄与が図れる。

応用品部門については、静電気除去器が好評で下期から増産体制に入り収益寄与が見込まれる。また、釣具・電子錠・防犯機器についても、営業・開発両部門の連携を強化し安定受注をめざす。

本社については、安定的かつ低コストの資金調達を進め財務体質の改善を図る。また、更なる経費削減を進め、従業員の生産性を高め販管費圧縮に資する。

製造拠点である NISSEY VIETNAM CO.,LTD については、更なる効率化を果たすべく組織変更と人材の強化を行い、あらゆる分野の新製品に対応できる技術力の向上、品質管理、納期厳守を最大の目標に掲げ、現地従業員の人材育成、生産能力の向上により一層の工場稼働率のアップをめざす。

株式会社シーテックについては、当社、NISSEY VIETNAM CO.,LTD、香港支店との連携強化によりターゲット先である国内大手時計メーカーに対して、的確な営業と信頼を得る生産管理体制を構築し採算ベースを維持する。

(4) コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

(コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方)

当社グループは、生産の全面的海外移行に伴い、少数精鋭による迅速な決断と対応を目標とした企業集団の形成に努めております。そのためには、取締役の人数も必要最小限にするとともに、海外拠点に駐在する幹部社員との意思疎通についても力を入れてまいりました。また、少人数経営を補完する立場から、社外各方面の英知をできるだけ吸収し、今後の経営に活かしてまいりたいと考えております。

(コーポレートガバナンスに関する施策の実施状況)

会社の経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

イ．委員会等設置会社であるか監査役制度採用会社であるかの別

監査役制度を採用しております。

ロ．社外取締役・社外監査役の選任の状況

社外取締役は4人中1人、社外監査役は3人中2人であり、非常勤であります。

ハ．社外役員の専従スタッフの配置状況

特定はしておりませんが、適宜関係部署で対応しております。

ニ．業務執行・監視の仕組み

正式な取締役会に加えて取締役間で随時打合せを行い、効率的な業務執行及び取締役間相互の業務執行監視を行っております。

ホ．内部統制の仕組み

社長の下に管理本部（本部内に2部を設置）、開発・営業本部（本部内に5部・1支店を配置）、製造本部（本部内に1子会社を設置）を置き、効率的な部門間牽制を行っております。

ヘ．弁護士・会計監査人等その他第三者の状況

顧問弁護士は2弁護士事務所と顧問契約を締結しており、専門分野に応じてアドバイスを受けております。会計監査人である中央青山監査法人からは、通常の会計監査を受けているほか、監査人の独立性を損わない範囲内で経営及び組織的な問題等について、適宜アドバイスを受けております。

会社と会社の社外取締役及び社外監査役の人的関係、資本的关系又は取引関係その他の利害関係の概要

該当事項はありません。

会社のコーポレート・ガバナンスの充実に向けた最近1年間における実施状況

昨年度につきましては、検討期間として位置付け具体的な動きはありませんが、今期以降内部統制、第三者による会社のコーポレート・ガバナンス体制への関与強化を具体化していく予定であります。

### 3. 経営成績及び財政状態

#### 経営成績

##### (1) 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、米国や中国をはじめとする世界経済が回復する中で輸出や生産が増加し、企業収益の改善で設備投資が増加するなど、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、物価の下落幅は縮小しているもののデフレ基調を払拭するまでには至らず、雇用や所得環境がやや改善傾向となり個人消費は持ち直しの動きが出てきましたが、明確な回復には至りませんでした。

このような状況下、当社グループはベトナム、香港の海外拠点の機能を最大限に活かしつつ、取引先の要望に即応すべく生産能力アップ、資材調達コストの低減化、海外生産委託先の開拓と順次体制を整えてまいりました。併せて、業務の合理化を進めることにより本社人員のスリム化を図ってきました。その結果、連結売上高は 1,821 百万円（前年同期比 0.9%増）となりました。

損益面では、その他事業の売上増加と時計バンド事業及びメガネフレーム事業の利益率の改善により営業利益は 107 百万円（前年同期比 99 百万円増）となり、資金調達手段の多様化を目的とした社債発行費等の費用計上はありましたが、経常利益は 49 百万円（前年同期比 65 百万円増）となりました。

また当中間連結会計期間において、当社が保有しておりました投資有価証券を売却したことにより特別利益を 239 百万円計上するとともに、特別損失として、棚卸資産の整理損等 21 百万円を計上しました。

この結果、当中間純利益は 169 百万円（前年同期比 638 百万円増）となりました。

なお、各事業のセグメント別の状況は次のとおりであります。

##### 時計バンド事業

当社の主力製品である欧州向け高級時計バンドは安定した柱となり、更に国内大手時計メーカーへの迅速な提案営業に努めましたが、売上高は 1,420 百万円（前年同期比 0.5%減）となり、営業利益は 73 百万円（前年同期比 16.8%増）となりました。

##### メガネフレーム事業

国内既存先との取引深耕および新規先の開拓に努めましたが、需要回復の動きが鈍く売上高は 306 百万円（前年同期比 2.1%減）となりました。しかしながら、ベトナム子会社の合理化により営業利益は 14 百万円（前年同期比 42 百万円増）となりました。

##### その他事業

イオンプレーティング受注増および静電気除去器の売上寄与により売上高は 95 百万円（前年同期比 43.7%増）となり、営業利益は 19 百万円（前年同期比 46 百万円増）となり

ました。

#### 財政状態

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動及び財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期と比較して減少し、投資有価証券の売却により 328 百万円の収入がありましたが、有形固定資産等の取得により投資活動により得られたキャッシュ・フローは 86 百万円となり、資金は前年同期と比較して 665 百万円減少し 210 百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動に使用した資金は 41 百万円であり、前年同期と比較して、棚卸資産の増加 80 百万円等により 91 百万円減少しております。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資有価証券の売却による収入 328 百万円がありましたが、有形固定資産等の取得による支出があり、投資活動により得られた資金は 86 百万円となり、前年同期と比較して、164 百万円増加しております。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

前年同期は、主として長期資金の調達により財務活動から得られた資金は 327 百万円でありましたが、当中間連結会計期間では 18 百万円の資金を使用し、資金は前年同期と比較して 346 百万円減少しております。

#### （2）通期の見通し

通期の見通しにつきましては、上半期後半からの原油価格の高止まりを背景に、回復基調にある我が国経済のみならず米国経済の先行きに不透明感が増し、個人消費の落ち込み、輸出の低迷等懸念される状況となっております。

このような状況下、当社グループは本社の全面的なバックアップのもとに、NISSEY VIETNAM CO.,LTDにおける技術力の向上と一貫生産体制によるメリットを全面に打ち出し、香港支店での中国委託生産機能、資材調達力を最大限に活かしつつ、グループ一丸となって顧客の信頼を獲得するとともに売上の増加をめざしてまいります。また、従来からの時計部品・メガネフレームに加え、電子辞書外装部品をはじめ第三の柱の育成に取り組んでまいり所存であります。

業績予想につきましては、連結売上高 3,800 百万円（対前年同期比 5.6%増）、連結経常利益 150 百万円、連結当期純利益 234 百万円を見込んでおります。